

# 第1学年英語科学習指導案

指導者 伊藤 彰子

1 日時 平成27年7月3日(金) 1校時

2 学級 1年4組 男子18名 女子15名 計33名 南校舎2階 1年4組教室

3 主題 My Project 1 自己紹介しよう(SUNSHINE ENGLISH COURSE 1)

## 4 主題について

小学校ではHi, Friends 1のLesson 4(好きなものを伝えよう)、Lesson 8(I study Japanese.)で自分のことを伝える表現を学習している。第1学年の学習では、これらの学習の上に立って、既習事項を用いて、自己紹介を読んだり書いたり発表したりする。初めての人と出会う場面で、自己紹介は欠かせないコミュニケーション活動である。相手について情報を得るとともに、自分自身についても相手に伝え、お互いについて理解し合うことで本当のコミュニケーションを体験することがねらいである。また、本校では夏休み明けALTが勤務し始めるので、自己紹介は多くの生徒が意欲をもって取り組むであろう題材となっている。

N=128

1年生は、英語の学習でも特にコミュニケーション活動に積極的に取り組む。そして、学級の仲間の発言に対して感心したり、自己紹介に対して反応を示したりと、人と関わることを臆さない生徒が多い。アンケートによると、「人と関わるのが得意」と答えた生徒は約8割であった。しかし、「授業中の発言や発表が得意」と答えた生徒は約4割にとどまり、半数以上が苦手と答えている。そして「英語での発表やスピーチをもっとうまくなりたい」と考えている生徒は全体の9割以上、と英語の学習に関して、高い意欲を見せている。5月下旬に行ったアルファベットを書くテストでは、およそ9割以上が大文字・小文字とも書けた。しかし、アルファベットを書けても単語や英文を覚えるのに時間がかかり、書くことに多少抵抗を感じている生徒が若干名いる。また、英文の内容や構造をよく理解していないまま、ただ大声を出して繰り返したり、答えたりする生徒もいる。授業中は一人一人当てて確認を行い、分からない場合は教師がヒントを与えたり、周りが協力して教えたりする必要性を感じる。

人と関わるのが得意	はい 99人 (77%)	いいえ 29人 (23%)
授業中の発言や発表が得意	はい 50人 (39%)	いいえ 78人 (61%)
英語での発表やスピーチをもっとうまくなり たい	はい 119人 (93%)	いいえ 9人 (7%)

本単元では、既習事項を基に、自己紹介の例を読んだり、実際に自分で書いたりさせる。また、相手に伝わるスピーチにするためにはどんな条件が必要であるかを意識させ、発表会に臨ませたい。そして、今後は1年生のProgram 10でWhy~? Because~?を習うことで理由を付け加えることができるようになり、さらに2年生Program 3でI think(that)~で自分の意見を言えるようになる。自己表現の幅を広げられるよう、説明を付け加えるように指導していきたい。

本単元では、既習事項を基に、自己紹介の例を読んだり、実際に自分で書いたりさせる。また、相手に伝わるスピーチにするためにはどんな条件が必要であるかを意識させ、発表会に臨ませたい。そして、今後は1年生のProgram 10でWhy~? Because~?を習うことで理由を付け加えることができるようになり、さらに2年生Program 3でI think(that)~で自分の意見を言えるようになる。自己表現の幅を広げられるよう、説明を付け加えるように指導していきたい。

## 5 指導の評価と計画(別紙)

## 6 本時の達成目標

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	
外国語表現の能力	自己紹介に説明を付け加えている。 例) I like baseball. It's exciting.
外国語理解の能力	
言語や文化についての知識・理解	

## 7 本時の指導構想

### (1) 本時のねらい

本時は、評価規準の「外国語表現の能力」の「自己紹介に説明を付け加えている。」を主にねらったものである。

### (2) 「論理の意識化を図る学習活動」にかかわって

#### 【考えがいのある課題設定】

学習課題を、以下のように設定する（5. 本時の課題を確認する）。

Main Task: 「自己紹介に説明を付け加えよう！」

課題解決の基となるのは既習事項である。これについては、前時までに習得しており、導入で復習する（3. 前時までの復習をする）。 例）・ I like baseball. It's exciting.

・ I play basketball. It's fun.

・ I have a dog. It's cute.

#### 【「論理の思考型」を用いた言語活動】

帰納的思考を用いて考えさせたい。これについては、前時の復習後、紙板書で提示する。生徒は自己紹介に説明を付け加えることで自己決定とする（5. 自己紹介で I like(play, have) ~の文に説明を付ける。）。

#### 【かかわり合い】

本時では2度のかかわり合いを設定する。


1度目は相手に発表する練習をペアで行い、自己決定した英文をすらすらスピーチできるようになることをねらいとする（6. ペアで発表練習をする。）。

2度目は3～4人グループで行う（8. 発表をする。）。なるべく多くの人の中で自己紹介をして、相手を意識することをねらいとする。自分では気付かなかった視点などもグループ活動を通して気付かせたい。また、発表したクラスメートからも学び取らせたい。

#### 【自己評価活動】

終末において自己評価活動を行う（9. 自己評価活動を行う。）。活動を振り返り、自分のスピーチに説明を付けると相手に伝わりやすくなることを実感させ、そこにスピーチの面白さがあることにも気付かせたい。

## 8. 本時の展開

段階	学習活動	教師の指導・支援	評価の観点・方法	教材・教具
導入 18分	0. チャンツ・英語の歌を歌う。 <b>・BINGO</b> 1. アクションカードでパターンプラクティスする。  2. 先輩の自己紹介を聞く。  3. 前時までの復習をする。  4. 本時の課題を把握する。	0. 大きな声で歌わせるようにする。  1. 個々の生徒が教師の指示を聞き、カードを見て瞬時に英語で言えるか、理解度、達成度をモニターし、必要であれば追指導を行う。  2. 紙板書の自己紹介と聞こえてきた自己紹介を比べさせる。  3. 前時までの復習 例) I like baseball. It's exciting.  4. 本時の課題を提示する。		・CD、ワークシート  ・アクションカード  ・紙板書、CD ・プロジェクター  ・紙板書  ・紙板書
展開 28分	5. 自己紹介の I like(have, play)~の文に説明を付ける。 【自己決定】 【帰納的思考】 <b>・自己決定の発表</b> <b>・暗記練習</b> 6. ペアで発表練習をする。 【かかわり合い①】  7. 自己紹介ビデオを見る。  <b>・リスナーの指導</b> 8. 発表をする。 【かかわり合い②】	5. I like(have,play)~. It's ~. を使用させる。  6. 聞き手にはなるべく話し手の自己紹介を Shadowing させる。  7. 先輩の自己紹介する様子を見て、見習いたい点を話し合わせる。  8. 3～4人グループで発表練習させる。	<b>【外国語表現の能力】</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             自己紹介に説明を付け加えている。              例) I like baseball.              It's exciting.           </div> 〈学習シート記述〉 A:自己紹介に説明が書いており、文法や綴りのミスがない。 C:自己紹介に書く説明の表現方法を再確認させる。(学習シート)	・ワークシート  ・パソコン ・プロジェクター
終末 4分	9. 自己評価活動を行う。  <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <b>【生徒の記入例】</b>              私は自己紹介に説明を付け加えることで、より相手に伝わりやすいスピーチができることが分かった。自己紹介のパフォーマンステストでは、これまで習ったことを十分に生かせるよう、家でも練習を頑張りたい。           </div>			・自己評価カード

1年 英語		単元名 My Project 1		総時間 5時間扱い	
学習指導要領の指導事項			単元の目標		
【話すこと (イ)】自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝える。 【書くこと (イ)】語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。			(1) Program 2～4で学んだ表現を使って、自己紹介を正しく書くことができる。 (2) 自己紹介を適切な声量や明瞭さで話すことができる。		
コミュニケーションへの関心・意欲・態度		外国語表現の能力		外国語理解の能力	
関 アイコンタクト・表情・声量に気を付けて話している。		表 語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく自己紹介を書いている。			
単元の展開例と具体的評価規準					
時	○学習内容 ・学習活動	おおむね満足 (B)	十分満足 (A)	評価事例	
1	○本単現で身に付けるおおまかな内容を知る。 ○自己表現の構成について理解する。 ・教科書本文を通して、一般動詞を用いた肯定文の使い方を理解する。 ・教科書本文から、自己紹介に使える表現を探す ・他の表現を補足説明する。			4 自己紹介に説明を付け加えている (表現 ワークシート)  学習シートに前時の復習 I like ~. It's~を書いてあるかどうかを評価対象とする。  ■おおむね満足 (B) <span style="float:right">■十分満足 (A)</span>	
2 ・ 3	○絵を用いて、自分の力で何とか相手に自己紹介する。 ○教科書 P45～46を参考に自己紹介を書く。 ・前時までに学習した構成に従って自己紹介を書く。	関 アイコンタクト・表情・声量を意識して話している。	関 アイコンタクトを入れながら、スピーチにふさわしい表情と適切な声量で話している。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                     自己紹介に説明を付け加えている。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;">                     自己紹介に説明を付け加えており、文法や綴りのミスがない。 例) I like baseball. It's exciting.                 </div>	
4 本 時	○自己紹介に説明を書き足す。 ○自己紹介を練習する。 ・発表のルールを確認し、適切な声量や明瞭さを意識させながら練習する。	表 既習の表現や語句を用いて書いている。	表 文法的な正確さが認められ、既習の表現や語句を用いてまとまりのある内容で書いている。	【C：指導の手立て】 自己紹介に説明を付け加えて表現するのが困難な生徒に対しては、学習シートで表現の確認をする。	
5	○自己紹介をする。 ・発表の仕方を理解する。 ・一人ひとりクラス全体で自己紹介する。	関 アイコンタクト・表情・声量を意識して話している。	関 アイコンタクトを入れながら、スピーチにふさわしい表情と適切な声量で話している。		